

## 平成16年度 第1回意見交換会報告

日時： 平成16年8月7日（土） 10:00 ～ 12:00

場所： におい・かおり環境協会会議室

出席者（敬称略 順不同）：

久保田はる子（九宝物産）, 祐川英基（三菱マテリアル資源開発）  
生田博美（東洋興商）, 芝崎克一（理研計器）, 中野 肇（新明和工業）  
小坂芳雄（環境管理センター）, 伊藤英武（におい・かおり環境協会）  
相部紀夫（エコ・ワークス）, 西 栄子（味の素ファインテクノ）  
平林憲次（東亜道路工業）, 清水洋一（日揮ユニバーサル）  
吉栄康城（新コスモス電機）, 鈴木信廣（東邦化研） 後藤邦明（日本ゼオン）  
以上 14名

### 1. 講演報告

演題「触媒式脱臭装置の排ガス採取時の注意事項」 講師 清水洋一殿

自動車塗装業やオフセット印刷業における経験を踏まえて、現場での注意点を詳細に説明された。特に話題となった事項はつぎのとおりであった。

- 1) 排ガスのカロリー変動により排気の温度変動があり、危険なので注意が必要。
- 2) サンプリング口や風速測定口の形状が現場により異なり、適した形状でないことがある。このことについて、設計基準等を策定している各種協会や団体に改善するよう申し入れたらどうかとの意見があった。
- 3) 自動車塗装やオフセット印刷は作業状況の変動がはげしいことや省エネ運転をすることがあるので、サンプリング時に注意が必要。特に印刷は on-off 運転が頻繁に行われる。

### 2. 報告及び討議

#### 1. 新資格“臭気対策アドバイザー”制度について

事務局より、環境新聞に掲載された記事をもちいて、当制度の概要の説明が行われた。

- 対策経験が豊富で実務に詳しい者を「臭気対策アドバイザー」として認定する。
- 協会に寄せられた苦情や相談などの対応に、資格者派遣し現場での対策の後押しをする。
- 資格取得希望者の申請に基づいて協会が審査する。募集は秋頃より開始される。
- 本件に関して、協会のHPや機関誌の記事で情報提供されるので留意されたし。

#### 2. 臭気測定認定事業所について

嗅覚測定法（三点比較式臭袋法、フラスコ法）がISOに採用されるように関係者が努力中であるが、そのような情勢の中で、認定事業所の中には測定法等が疑わしい所もあるので改善指導をしていかなければならない。

外部精度管理へは全社参加するように指導してほしい。

認定事業所のリストに各社の年間分析検体数を記載したらどうかとの意見があったが、好ましくないということ結論になった。

### 3. 判定士会のセミナーについて

事務局より、開催予定を10月末、講演内容を“嗅覚概論—最新情報”“最近の臭気対策事例”“脱臭装置設計に関する基礎（初心者向け）”としたらどうかとの提案があった。それに対し次のような意見が出た。

- 脱臭装置に関する裏話を聞きたい。（参加者から一例が話され、話題は結構あるとの意見があった）
- 家庭内のおいのように身近なおいの話をテーマにしたらどうか。  
においの例、対策事例。
- タバコメーカーの人でタバコのおいを研究している人がいる。このような人に講演を頼んだらどうか。
- 協会のセミナーとは線引きし“嗅覚”ということに重きをおいて、一般の人も興味をもつテーマがよい。生活に身近なテーマを選び、対策事例などの説明もおこなう。一般のひとにもPRする。
- 精度管理についてもっと詳しく聞きたい。
- 去年の2号規制に関する内容は評判が良かった。

### 4. 臭気判定士及び判定士会のPRについて

改めて、協議することとした

### 5. 臭気判定士試験直前講習会の開催について

開催について異議は無かった。実施に向け事務局と有志で進めることになった。

### 6. その他

判定士会の free Mail を利用して、アドバイスを求めている方がいるので、皆で解答してほしい旨要請された。